

# (株)山武が(株)金門製作所へ資本参加し、 グループ化、協業を開始

2005年12月19日

株式会社 山武

株式会社 金門製作所



# はじめに

- 山武は創業100周年を契機とした山武第二世紀に向けて積極的な事業展開に取り組んで参りました
- 金門製作所は平成16年1月28日に(株)産業再生機構による支援決定を受け、会社再建に取り組んで参りました
- 本日、山武は金門製作所の株式を取得してグループ化し、さらなる発展に向け、取り組んでいくこととなりましたので、ご報告申し上げます

# 株式取得の概要と目的

## 株式取得の概要

- 山武は、産業再生機構が保有する金門製作所の第 種優先株式、株式会社りそな銀行および株式会社みずほコーポレート銀行が保有する金門製作所の第 種優先株式を譲り受けることで合意に達し、本日、株式譲渡契約を締結いたしました。
- これにより山武は金門製作所の経営権を取得、山武グループの企業とし、協業を推進します。

## 株式取得の目的

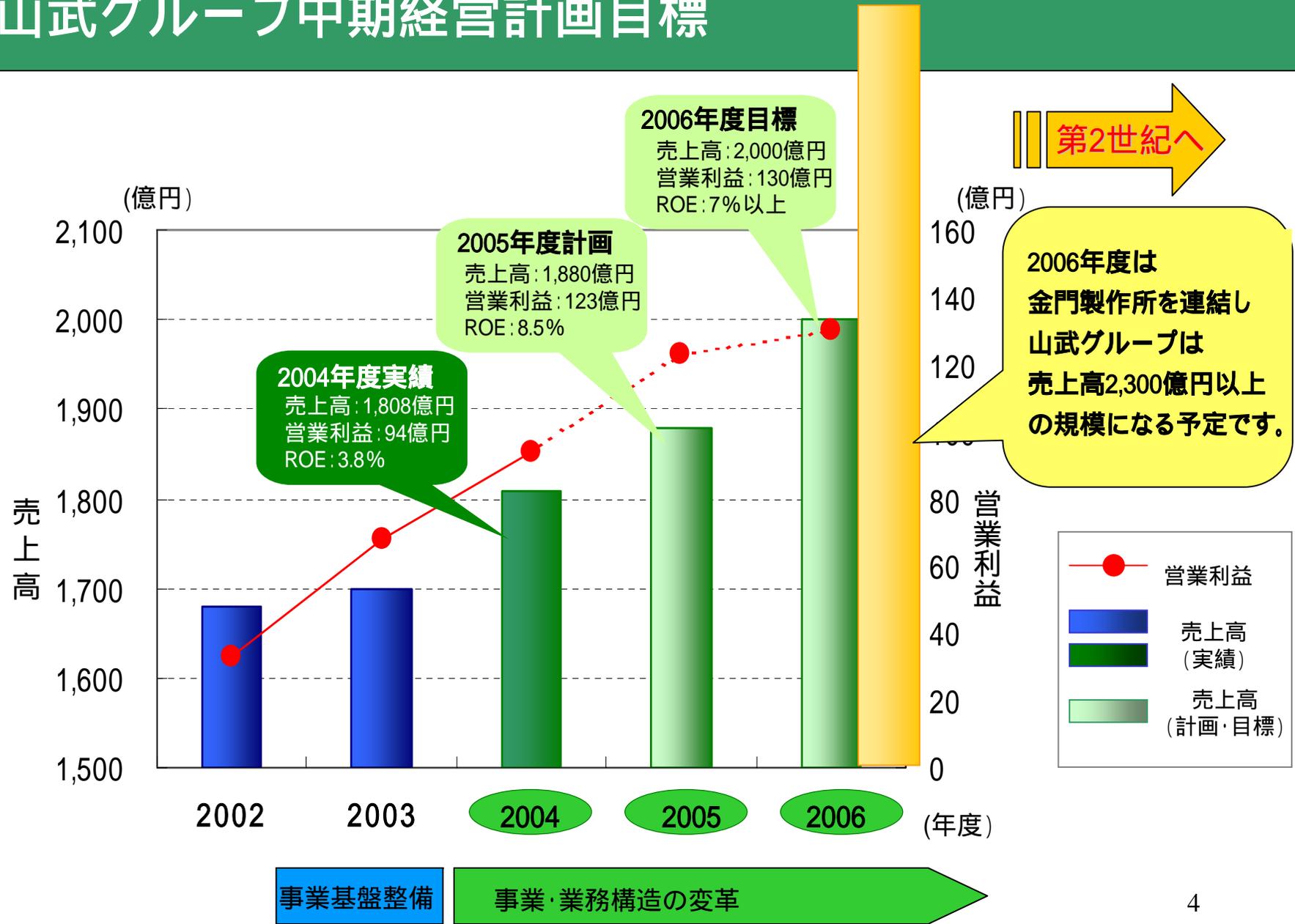
### 事業成長機会の追求 <ライフオートメーション事業の展開>

- 山武は「建物」のオートメーションを進めるビルシステム事業、「工業」でのオートメーションを進めるアドバンスオートメーション事業を中心に事業を展開する総合オートメーションメーカーですが、現在両事業に続く第3の柱としてライフオートメーション事業の展開を進めています。
- エネルギー供給の多様化、規制緩和の拡大、顧客ニーズの多様化等のライフライン領域での変化を事業成長機会と捉え計測制御事業を発展させ、第3の柱ライフオートメーション事業の核として今後展開していきます。
- 新たに山武グループに加わった金門製作所はこのライフオートメーション事業の中核を担う存在と考えております。

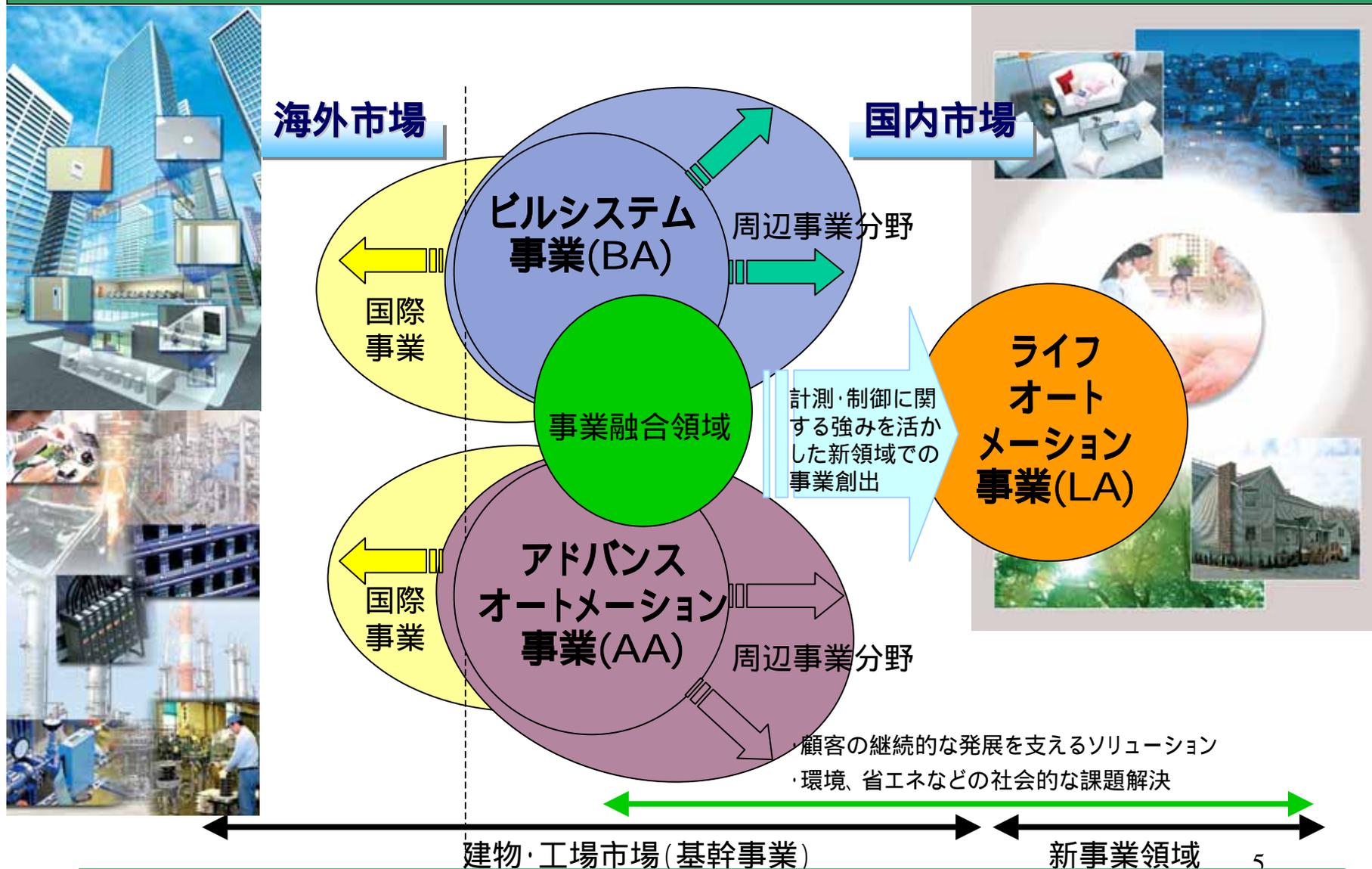
### 競争優位性の確保

- 金門製作所の「計量」を中核としたガス事業・水道事業での製品・計量管理と技術力、顧客関係、ブランドと山武の「計測・計装」事業での制御、ネットワークやエンジニアリングにわたる高い技術力と応用力といった強みを組み合わせることで、お客様への提案の幅を大きく広げ、競争相手に対しての優位性を高めます。

# 山武グループ中期経営計画目標

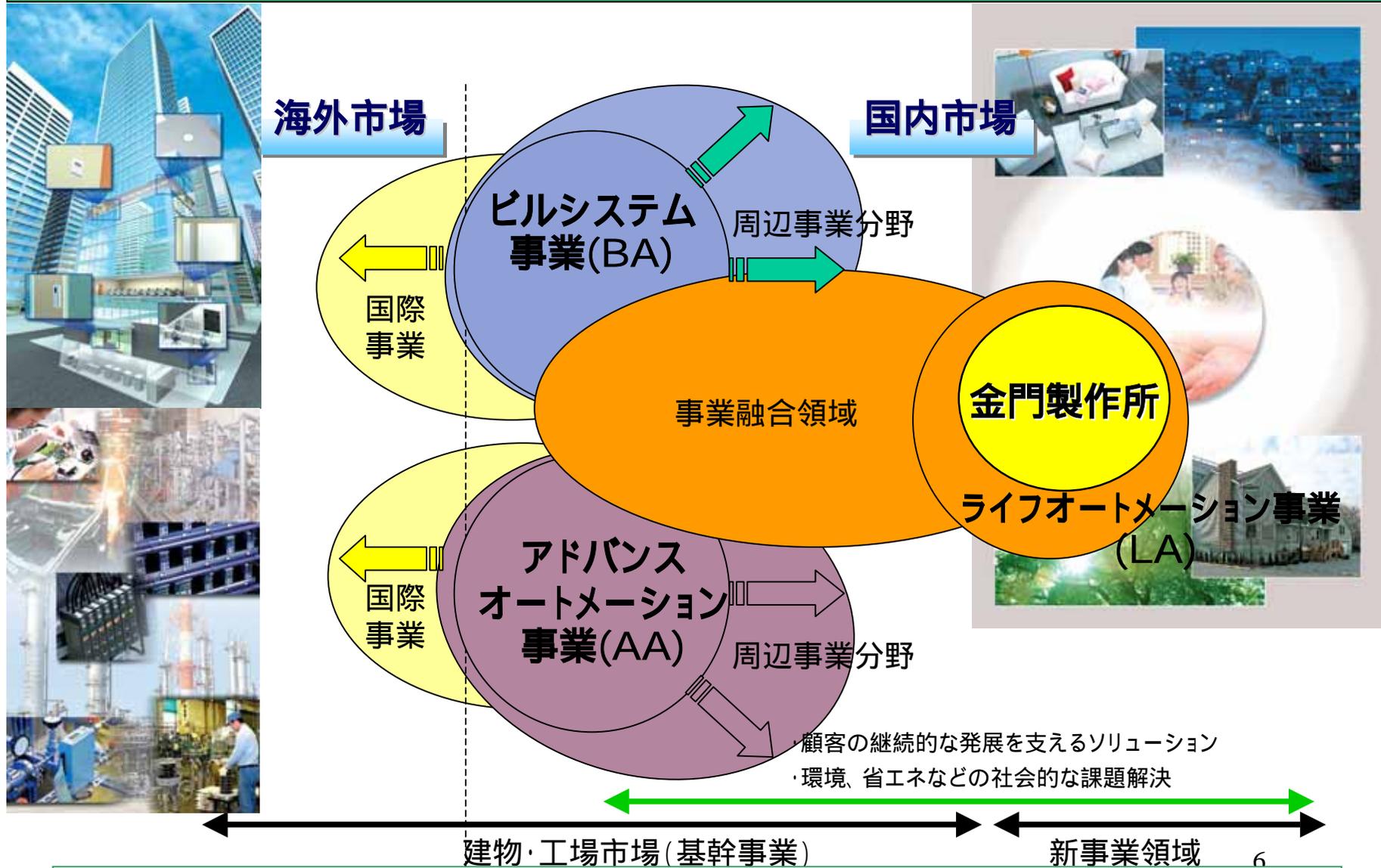


# 山武の戦略の方向性 - 基盤事業の拡大と新規事業の創出 -



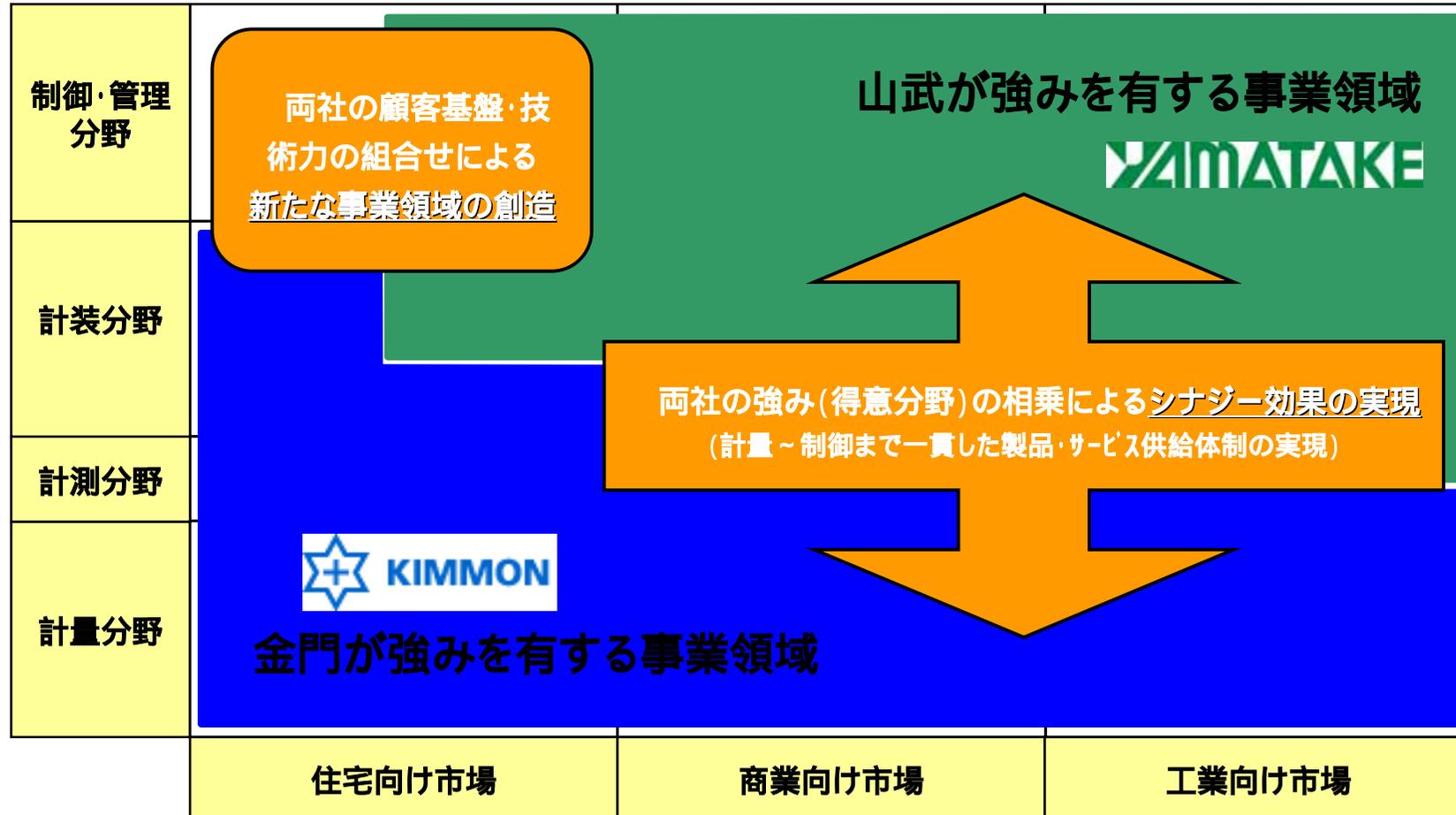
**基盤事業の拡大**と計測・制御に関する強みを活かし**新規事業**(ライフオートメーション事業)を創出する

# 金門製作所の位置づけ



金門製作所の「計量」における強みを活かしてライフオートメーション事業の中核とし、事業融合も拡大

# 事業ポジションの視点で捉えた両社の協業の考え方



# 金門製作所と山武との連携

## 考え方

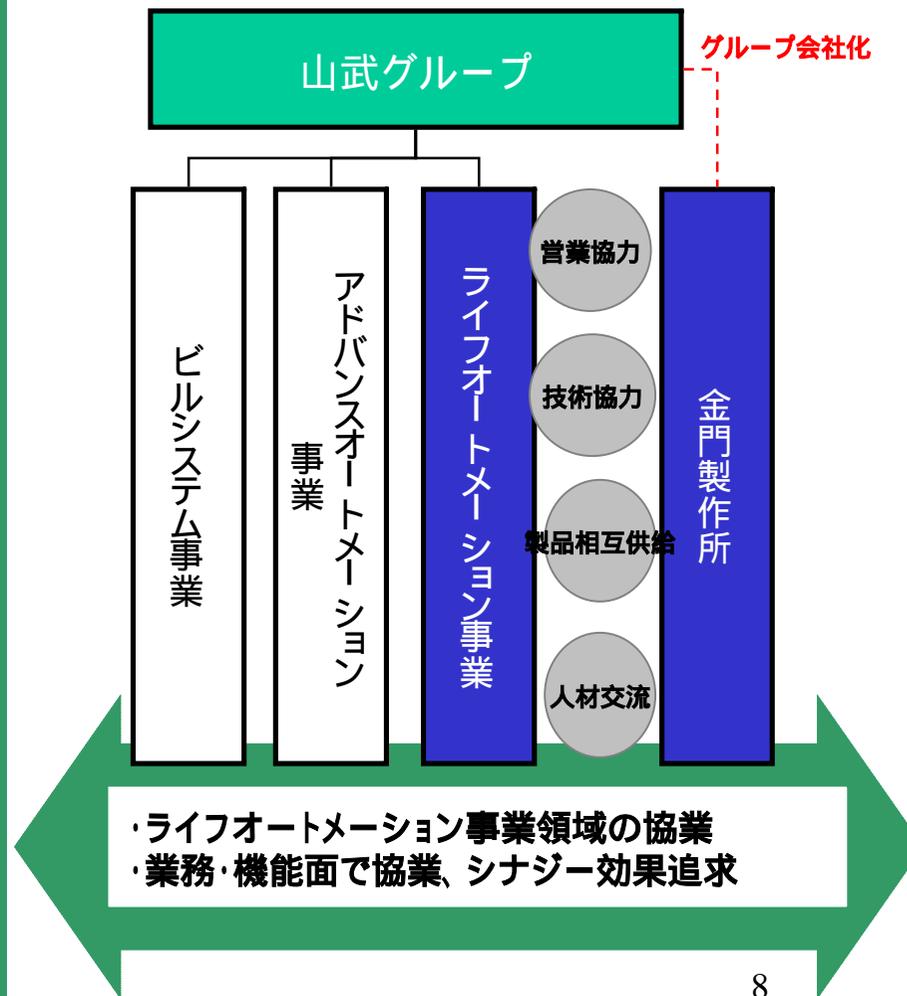
### 事業面での協業による展開

- ビルシステム事業、アドバンスオートメーション事業に続く山武の第3の柱としてライフオートメーション事業展開を進める。
  - 金門製作所は、山武のライフオートメーション事業の中核に位置づけ。
- エネルギー供給の多様化、規制緩和の拡大、顧客ニーズの多様化等の変化を事業成長の機会とし、発展させる。

### 業務・機能面での協業による展開

- 山武の各事業の機能・事業面でのシナジーによる付加価値創造を行う。
  - 営業
  - 技術・製品開発
  - 生産
  - その他

## 体制



# 金門製作所の現在までの取り組み

## 現在までの取り組み

### リストラクチャリング

- ・金門グループの再構築
- ・遊休資産の売却

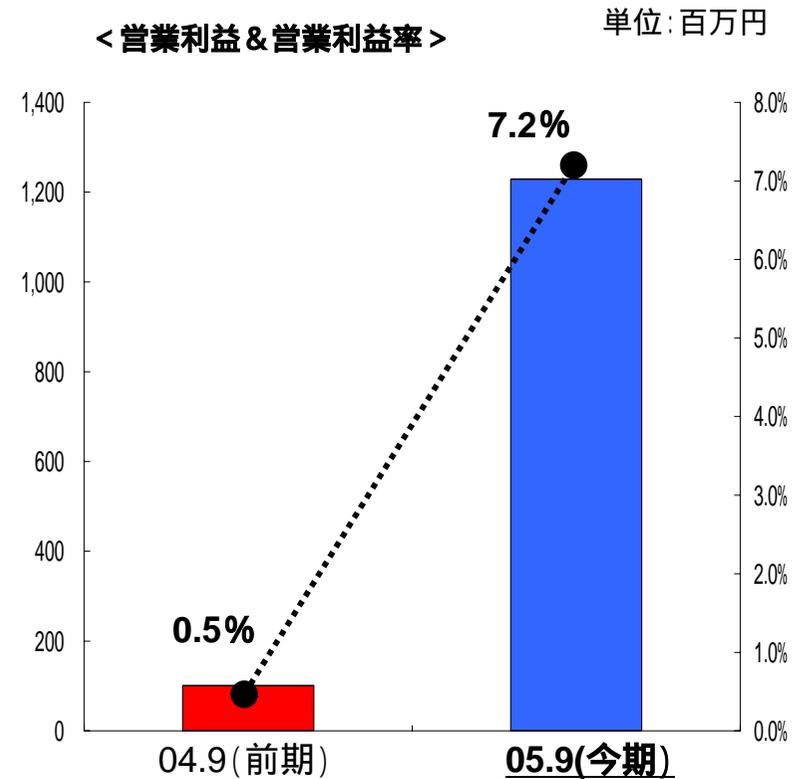
### 事業ポートフォリオの再構築

- ・ノンコア事業の売却
- ・製造会社の買収

### コア事業の強化

- ・生産性の向上
- ・新サービス・新製品開発の強化

## 業績推移



現在までの採算性の向上を図る取り組みにより昨年度と比較すると、**業績大幅改善**

# 金門製作所の基本姿勢

## 当社の基本姿勢

### 現在の位置づけ

会社再建に向けて金門の役職員が一丸となって取り組んだことで、**再生のステージは終了**

### 更なる発展に向け

今後は事業会社として更なる成長を目指す為の戦略、体制が必要

➡ **成長を確実に支える為の新たな資本提携先が必要**

## 山武 資本参加による当社のメリット

### ● 供給市場の拡大

- 金門製作所と山武の事業領域の重複は僅かであり、基本的に補完関係
- よって計量・計測機器最大手の当社と工業・商業向け計装・制御機器市場に強みを有する大手の山武との営業を連携することにより、**当社製品の供給市場の拡張**が可能

### ● 一貫した製品・サービスの供給(計量・計測～計装・制御)

- 一世紀にわたって両社が築きあげてきたガス・水道計量分野における金門製作所の強みと計装・制御管理分野での山武の強みを連携していくことで、**計量・計測分野から計装、制御管理まで一貫した付加価値の高い製品・サービスの供給**が可能

### ● 計装・電子分野での技術力強化

- 山武と技術面での連携を深めていく事で、今後金門製作所が強めて行きたい**計装・電子製品の技術面での強化**を図ることが可能

## 参考資料 会社概要 - (株)山武 -

本社所在地:	東京都千代田区丸の内
設立日:	1949年8月
資本金:	10,522百万円
事業:	ビルディング・オートメーション、産業オートメーション ソーシャルオートメーションの機器、システムの製造・販売及びヒューマンケア事業
従業員数:	5,573名（連結6,977名） 05年3月31日時点
上場:	東証一部
売上:	180,762百万円(2005年3月期)
株式の状況:	発行済株式総数(普通株) 73,576千株
主要株主:	ノーザントラストカンパニーサブアカウントアメリカンクライアント 8,815千株(11.98%) 明治安田生命保険相互会社 5,214千株(7.08%) 日本トラスティー・サービス信託銀行 4,223千株(5.73%)
取引銀行:	みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行、横浜銀行、東京三菱銀行等

## 参考資料 会社概要 - (株)金門製作所 -

本社所在地:	東京都文京区向丘2-3-6
設立日:	1948年7月
資本金:	3,157百万円
事業:	計量計測機器(都市ガス機器、LPガス機器、水道機器)の製造販売
従業員数:	540名(連結1,422名) 05年4月1日時点
上場:	東証一部
株式の状況:	発行済株式総数(普通株) 34,219千株
主要株主	普通株
	日本証券金融株式会社 3,192千株(9.33%)
	明治安田生命保険相互会社 1,600千株(4.68%)
	小野田 元 1,197千株(3.50%)
	第 種優先株(議決権有)
	(株)産業再生機構 6,000千株(現在14.96%)、転換後26,086千株
	第 種優先株(議決権無)
	(株)りそな銀行 3,242千株
	(株)みずほコーポレート銀行 2,758千株
取引銀行:	<u>りそな銀行、みずほコーポレート銀行(主力)、佐賀銀行、UFJ銀行等</u>

# 参考資料 ライフオートメーション事業について

- ビル市場・工業市場で長年にわたり培ってきた技術とノウハウを、日々の暮らしに密着した分野へと有機的に展開しているのがライフオートメーション事業です。
- 下水道やごみ処理、地域冷暖房といったライフライン・インフラの整備から、住宅空調、リサイクル機器、食の安全、生活安全サポート、介護支援、バイオ技術の応用まで幅広く、技術とノウハウを生かしてあらゆる人へより一層の快適と安心をお届けしています。



## ライフライン・オートメーション:

「生活」の場における、エネルギー、ユーティリティなどのライフラインの安全や管理など対象とした事業



## ライフケア・オートメーション:

生活の場における、健康を支援し安心・安全を提供する事業



## ライフサイエンス・オートメーション:

ライフサイエンス関連の産業をオートメーションにより支える事業

# 山武グループ企業理念

心地よさを人に 地球に  
私たちは、環境にやさしく豊かな社会づくりに貢献します。

- 私たち山武グループは、ビル、プラント、工場などで、数多くの実績を重ねてきました。
- 高度な計測・制御技術をコアコンピタンスとして、私たちが活躍する場は未来に向かって無限に広がっています。そしていつの時代も、常にお客さまの価値創造と快適・最適を追求するため、開発・生産・販売・施工・サービスマンテナンスまで一貫した事業体制で、ライフサイクル型ソリューションをお届けいたします。
- 1906年の創業から100年、省エネルギー、環境、ヒューマンケア、そして未来のこと。
- 山武第二世紀に向けて、これからも新しい価値をつぎつぎと生み出してまいります



ありがとうございました。